

## II 園経営の概要

### 1 教育目標

「心豊かで たくましく 生き生きと生活する子どもの育成」  
～ 自立した子どもの育成をめざして ～

### 2 めざす子ども像

- ・ 仲よく助け合う子ども  
(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、  
社会生活との関わり、言葉による伝え合い)
- ・ 明るくたくましい子ども  
(健康な心と体、自立心、自然との関わり・生命尊重)
- ・ 自分で考え工夫する子ども  
(思考力の芽生え、豊かな感性と表現、  
数量・図形・文字等への関心・感覚)

### 3 経営の基本方針

- ◎ 同和教育をすべての教育活動の基底に据え、「自分も大切に・他の人も大切に」の気持ちを持ちながら、共通の目的をもって協力して生活できる子どもを育てる。
- ◎ 幼児期の特性を踏まえたさまざまな体験活動をとおして、子どもが自分で考え・工夫し、互いに伝え合うことを大切にした活動を推進する。
- ◎ 子ども一人一人を大切にし、子どもが主体的に楽しく遊べる環境をつくる。
- 健康安全に留意し基本的な生活習慣の定着を図るとともに、たくましい心と体を育てる。
- 地域のひと・こと・ものとのかかわりをとおして、豊かな心と自尊感情を育む。
- 家庭・地域・小学校等との連携を密にし、信頼される幼稚園づくりを推進する。

### 4 経営の重点

- ◎ 自分から進んでいろいろなことを体験する中で、失敗を恐れず、粘り強く試行錯誤や工夫をしながら、満足感や達成感を味わう子どもを育てる。
- ◎ 友達との関わりを通して互いの思いや考えなどには違いがあることに気づき、折り合いをつけながら互いの良さを感じ取ったり、みんなで遊び生活する楽しさを味わったりする子どもを育てる。
- ◎ 生活リズムや挨拶などの基本的な生活習慣を身につけ、健康安全に気をつけながら丈夫な心と体をつくり、見通しを持って主体的に生活しようとする子どもを育てる。
- 絵本や物語などに親しみ、豊かな言葉や表現方法を使って自分の思いや考えなどを伝え合うとともに、豊かな言葉や表現方法を身につけようとする子どもを育てる。
- 家庭・地域の人や自然などとの関わりを通して、人や地域などの環境の良さを感じたり、親しみや人の役に立つ喜びを感じたりする子どもを育てる。
- 家庭・地域並びに保育園・小学校との連携を推進し、多くの人に関わる中で子どもの成長を支援する。